



可知市長、僕たち私たちがこんなこと考えてます!

「将来も恵那市で暮らすために」現役中学3年生が市長と熱く語る。

地元・恵那市のこんなところが大好きです!

8月27日、市役所で「中学生、市長と語る会」が開催されました。可知市長の「まちづくりに若い中学生の意見を生かしたい」という提案から平成17年に始まったもので、ことしで11回目を迎えます。

今時の中学生はこんなことが心配の種

市では、ここでもらった意見などを市の施策の参考として、第二次総合計画をはじめとしたまちづくりに生かしていきます。ここでは、内容の一部をお知らせします。(敬称略)

□問い合わせ 総合政策課 26-2111 (内線322)

恵那西、恵那東、恵那北、岩邑、山岡、明智、串原、上矢作の全8中学校から各2人の代表生徒が出席。市長と大畑教育長の18人で、意見を交換しました。ことしのメインテーマは「将来も恵那市で暮らすために」。サブテーマに「恵那市の好きなところ、好きではないところ」と、「10年後、恵那市はこんなまち



まちづくりに意見を下さいね

恵那市に期待すること! 言ってもいいですか?

こんな取り組みがあったらいいな

サブテーマ1 好きなところ、好きではないところ

■市長 まずは恵那市の好きなところと、好きではないところを聞かせてください。

豊富な自然や観光地

■熊崎雄大 恵那峡のように美しい自然や観光地があるところがです。市外へもっと宣伝すればいいのと思います。



▲恵那西中学校 熊崎雄大くん

■木村朱里 長島小学校のよりに広い学林で、自然の学習ができるのが魅力。地域の行事に限られた人しか参加しないのが残念。他の地域からも呼び込みたいです。



▲恵那西中学校 木村朱里さん

■近藤里奈 何と言っても、歴史を感じる落ち着いた風景と澄んだ空気です。大型商業施設がないのが欠点かな。



▲恵那東中学校 牧野真理萌さん

個性豊かな地元文化

■市長 豊かな自然を皆さん愛してくれていますね。反面、買い物や移動に不便なことがやはり挙げられますね。

■牧野真理萌 大井文楽など地域の伝統文化が残っているところが好きです。外灯が少

なく危険な場所があることが不安。外国人観光客に道を聞かれたときに答えられなくて困ったこともありました。

市外 外国語の観光パンフレットは英語、中国語、韓国語とありますが、より身近で便利に利用できるものも必要と。外灯の増設も大事ですね。

■大島琴音 偉人の功績や文化、恵那の誇りだと思います。

■伊藤未来乃 山岡にも城跡や鳥居がたくさんあります。

■和田隆太郎 笠置山の地形を生かしたボルダリングは自然が豊かな恵那市ならではの魅力です。バスの本数が少なく中心部になかなか出て行けないのが困ったところ。

■榎本隼哉 岩村は多くの偉人を輩出し、行事も盛んなのが誇り。リニア中央新幹線の開通で訪れる人も増えるだろうけど、恵那から出て行く人も増えそうで心配です。

■市長 笠置山のクライミングエリアは全国からも人気。岩村は電線を地中化した町並



▲恵那北中学校 和田隆太郎くん

みや偉人で有名ですね。市外に出なくても仕事の場が増えるよう、新たな工業団地を造成しています。

■成瀬健 串原中学校では伝統の中山太鼓を練習しています。生徒と地域が一体となり伝統文化を継承しているところが誇りだと思います。ささゆりの湯など、温泉があるのも魅力。大雪のときの対策はもっと早くしてほしいです。

■大島龍興 串原には美しい滝もあります。土砂崩れや落石が多いので、道幅を広げたり、落石防止フェンスを付けたりしてほしいです。

■市長 降雪時の対策や土砂崩れ、落石への対策を強化してほしいという意見でした。

■小栗ほの花 オーストラリア研修など、中学生にも国際感覚を養える機会があつてうれしいです。各学校で地域学習を取り入れてるのもすごくいいことだけど、他の学校がどんなことをしているのかわかる機会がもっとあるといいのになとよく思います。

■教育長 学校間の距離や生徒数の差があり、なかなか交

地域のつながりに安心

■梅村来未 一緒に五平餅を作ったり、登下校時声を掛けてもらったりと、安心できる近所付き合いが大好きです。

■大島宙也 みのじのみのり祭のような地域を巻き込む大きな行事が魅力。秋だけでなく夏も開催しては。食だけでなく、市内の伝統芸能を一堂に集めた祭りを開催しても面白いかと。山を使ったアスレチック施設を建設するというのもいいと思います。

■岩崎和香奈 上矢作町は一面が山で、自然が豊か。キャンプやカワゲラウオッチングなど、自然を利用したイベントで人を呼び込めば有名になれると思います。

■市長 好きなところと好き

ではないところ、さまざまな意見や提案が聞けました。



▲大畑雅幸 教育長

10年後こんなまちになってほしい

■市長 10年後には皆さんは25歳になっていますね。10年後、恵那市がどんなまちになってほしいですか。

活気がいっぱいのもち

●岩崎和香奈 進学などで市外へ出たとしても、また帰ってきたやすいまちになっていたらいいと思います。活気があるまちだと帰ってきたくなる。明知鉄道のイベントを企画して人を呼び込んだり、今流行のLINEで、恵那を宣伝するスタンプを作ったりしたらいいと思います。



▲上矢作中学校 岩崎和香奈さん

■市長 明知鉄道ではよくイベントを開催していて、多くの客が来ます。でも明知鉄道の存続のためには毎日利用する乗客も必要。市内外から利用客を増やしたいですね。
●大島宙也 名古屋市や多治見市くらい活気のあるまちになってほしいです。そのため

には土地を探している企業の積極的誘致、山などの資源の有効活用が考えられます。



▲上矢作中学校 大島宙也くん

■市長 恵那市は災害にも強い場所なので、大企業の本社や国の機関の一部を持ってきてもいいのではと私は思います。リニアを使えば移動時間は東京から約1時間です。
●和田隆太郎 リニアの駅が中津川市にできたら、恵那市にもたくさん観光客が詰め掛けると思います。恵那峡やSLなど、恵那ならではの魅力をどんどん宣伝すると思います。そうすれば、10年後は今よりもっとにぎやかなまちになるはずだと思います。

●市川舞紘 小学校や中学校では児童や生徒の数がどんどん減っています。活気のあるまちがほしいです。暮らしやすいまち、住んでいる人はずっと住み続けたいし、市外から訪れた人もここに住んでみたいと思うんじゃないでしょうか。



▲明智中学校 市川舞紘さん

●大島琴音 恵那市には素晴らしい自然、歴史、文化があるのだから、皆がそれを知ったら恵那市に来てくれるはず。岩邑中学校では温故知



▲申原中学校 大島龍興くん

■市長 恵那市の観光ポスターが日本一を受賞した時、東京駅と名古屋駅に貼り宣伝しました。全国に恵那の魅力を知ってもらいたいですね。
●大島龍興 観光業の充実と伝統文化の宣伝を図り、10年後には恵那の特色が全国区になってもらいたいです。

全国に名を広めたい

●榎本隼哉 僕が望む恵那市の将来像、それは全国から人が遊びに来たり移住したりするまち。僕は生まれ育った岩村に愛着を持っています。僕たち中学生がまちのためにできることは、魅力を発信する活動を積極的に行うことだと思います。例えば岩村に訪れた観光客の案内役を、中学生が務めるというのも面白いのではないのでしょうか。大人じゃなくて中学生が紹介することで観光客も興味を持つし



▲岩邑中学校 大島琴音さん

■市長 恵那市の観光ポスターが日本一を受賞した時、東京駅と名古屋駅に貼り宣伝しました。全国に恵那の魅力を知ってもらいたいですね。
●大島龍興 観光業の充実と伝統文化の宣伝を図り、10年後には恵那の特色が全国区になってもらいたいです。



▲岩邑中学校 榎本隼哉くん

仕事の選択肢増やして

●成瀬健 進学で恵那を離れても戻ってこられるよう、働く場を増やしてもらいたいです。大学などで身に付けた知識や技術も生かせるような、



▲恵那東中学校 近藤里奈さん

僕ら自身も地元愛が増す。とてもいいことだと考えます。
■市長 市外の人にも魅力を伝えよう、それを自分たちから発信しようという、とても頼もしい提案です。
●近藤里奈 「恵那に行けばあんなことができる」「恵那に行けばこんなことができる」というような、独自の魅力を打ち出していくべきです。恵那でしか味わえない食べ物、恵那でしか触れられない自然など。インターネットなどを活用し広く情報を発信してほしいです。あと、活気あるまちには若い人の力が欠かせないと思います。若い人が安心して働けるまち、女性が子育てしながら働けるまちになるようにしてください。

多様な職場があれば選択肢も増えます。医療機関や介護施設、保育施設も充実した、子どもや高齢者が住みよいまちが理想です。



▲申原中学校 成瀬健くん

整備して交通を便利に

●伊藤未来乃 山岡はせっかく歴史的遺産があるのに人が少ないので、観光面がもっと充実すればと思います。観光客が増えれば新しい仕事も増えるし。それには交通面の発達も必要ですよ。



▲山岡中学校 伊藤未来乃さん

■市長 恵那市は合併時に市外からの観光客が280万人でした。それを400万人にしようという取り組み、達成しました。山岡の素晴らしい遺産や、寒天などの特産品がもっと有名になるように力を入れたいですね。
●牧野真理萌 歩道が整備さ

れ交通の便もよいまちがいいです。暮らしやすいまち、住んでいる人はずっと住み続けたいし、市外から訪れた人もここに住んでみたいと思うんじゃないでしょうか。

■市長 恵那市は移動に車を使う人が非常に多いですが、全ての人が車を運転できるわけではないので、公共交通機関も不可欠です。しかし明知鉄道は高校生以外の乗客が少ない。利用者がいないと運行も難しい。交通網の整備は重要課題と言えますね。

地域を越えた交流を

●安藤碧海 都会のような施設が無い代わりに、人とのつながりを生かした施設の設置を考えています。若者や子育て世代に優しいまちになって、すてきなまちになると思います。



▲山岡中学校 安藤碧海さん

●小栗ほの花 地域間でも学校間でも交流の持てるまちが理想です。それぞれの地域の特産品を一堂に集めて販売し合ったり、芸能文化を紹介し

合ったりするイベントを開いてみては。子どもから高齢者まで楽しめるし、市内外から人が集まると思います。書道や生け花などの生涯学習も推進し、心の豊かな人が住むまちでもあってほしいです。



▲恵那北中学校 小栗ほの花さん

■市長 合併しても、各地域は距離があり、なかなか交流できていないのが現状です。その距離を越えるくらいに皆が積極的にまちおこしに取り組めば、市全体が活気づくような気がします。

ずっと安心して住める

●木村朱里 誰もが安心して暮らせるまちになってほしいです。外灯のない暗い夜道や、子どもが遊ぶのに車の通りが多い公園では不安になります。安心できないと、住民は引越してしまうかもしれせん。危険な場所がないか見直し、安全強化をしてほしいです。

■市長 人が住む場所を決めるとき、まず一番に重要視す

るのは安心して安全かどうかですよ。

少子高齢化に柔軟対応

●梅村来末 子どもが減り高齢者が多くなるのは避けたいと思います。そこで、高齢者が楽しく過ごせるような足湯やマレットゴルフ場を増やしてはどうですか。退職後に第二の人生を田舎で過ごしたいと考えている県外の人向けに、空き家を改築して呼び込むのもいいと思います。



▲明智中学校 梅村来末さん

■市長 高齢者が笑顔で過ごせるための提案をありがとうございます。私も高齢者の一人です。恵那病院の再整備後周辺に高齢者の住みやすい環境をつくり、いつでも病院に行けるようにするという案や高齢者と一緒に入れる保育施設を作るといった案もあるんですよ。
●熊崎雄大 少子高齢化問題と、いっそのこと楽しく付き合っていけたら。施設にいる高齢者と小中学生との交流は



▲可知義明 市長

よくあるけど、施設に入っていない高齢者との交流は浅いと思います。小中学生が高齢者を訪問し、身の回りをお手伝いする機会をつくりたいです。高齢者を大切にすることが芽生えるし、大人も子どもと一緒に暮らして恵那市で暮らしたいという団結力が生まれると思います。それに、今日の語る会で、今まで知らなかった恵那の魅力を知りました。もっと市民が恵那市を見つめ直すといい。非常に意味があることだと思います。
■市長 高齢者と小中学生の交流の場をつくり、互いに支え合う。とても大事ですね。それぞれの地域の人が、市全体の魅力を見つめ直す。まだまだ知らないところはたくさんある。今日の場も、いろいろなことを知る機会になったと思います。皆で魅力を知り、それを発信し、団結していく。そうすることで、皆さんの思い描くような恵那市がつかられていくのだと感じます。

※LINEはスマートフォンなどで利用できる機能。インターネットを利用した通話、文字での会話、スタンプと呼ばれる絵文字のやりとりなどができる